

京図

きょうと

京都市図書館情報誌

ものがたり

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE

本で広がる世界 本でふくらむ夢

vol.33

平成25年11月発行



受賞作品「爪と目」

あなたの好奇心に答える

目次

2 3 特集 考えてみませんか？身近なモノから食文化

4 5 インタビュー 第149回（平成25年）芥川賞受賞
藤野可織さん

6 図書館の特色紹介 久世ふれあいセンター図書館

7 図書館小特集 新着資料のお知らせメールを登録してみよう

8 利用者の声 すすめられて読んだ思い出の一冊

8 編集後記

食は人が生きていく上で欠かせない営みです。
「実りの秋」「食欲の秋」に、ちょっと
私たちの食について考えてみませんか。

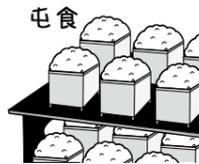
考えてみませんか？ 身近なモノから食文化

「食は人の天なり。
よく味はひを調へ知れる人、
大きな徳とすべし。」
『徒然草』百二十二段 吉田 兼好

お弁当とお弁当箱の歴史

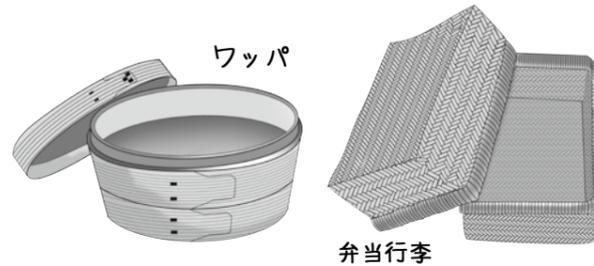
食物を持ち歩き、移動先で食べるお弁当は携帯食です。飛鳥奈良時代に干し飯（糰とも書く。蒸した御飯を乾燥させたもの）がよく用いられました。平安時代にはおにぎりの原型である屯食（とんじき）が誕生し、源氏物語にも屯食が登場します。

「屯食、祿の唐櫃どもなど、
ところせきまで春宮の御元服の
をりにも数まされり。」
（「桐壺」源氏の宮 元服の様子）



この時代にはそれまで主流だった柏の葉・朴の葉などで包む以外に、簡単に木でつくられた容器も用いられるようになります。その後、米だけでなく、梅干などの副菜がつくようになり、安土桃山時代には「べんとう」という名称が生まれたと考えられています。その後、漆器のお弁当箱が登場し、花見・茶会といった場で食べられるようになりました。江戸時代にはお弁当が発達して、花見・舟遊び・

芝居見物と庶民にもさまざまな行楽弁当が楽しまれました。そういうハレの日の弁当箱が重箱です。現在でも正月のお節料理などで目にすることができます。対して日常の弁当箱がワッパや弁当行李などです。

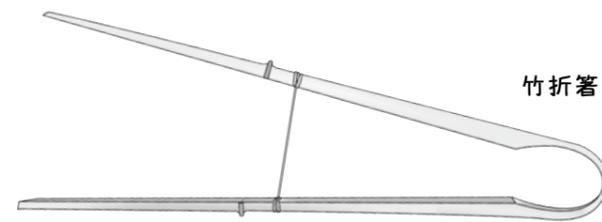


明治時代になると、働く人たちは腰弁をさげて、勤めに出かけていました。昭和にはアルミの弁当箱が登場しました。最近ではプラスチックの弁当箱が主流です。

『ワイワイみんなでべんとう』奥村 彪生 著 農文協

箸の歴史

日本に箸が伝えられたのは、弥生時代末期とされていますが、当時の祭祀・儀式に用いられていたようで、食事に使うものではありませんでした。また古事記にも箸の記述があります。スサノオが出雲の国に降りた時に、「箸其ノ河従り流れ下りき。」川に箸が流れてきたことから、川上に人が住んでいることを知り、スサノオのヤマタノオロチ退治が始まります。川に流れて来たものが、現在のような2本一組の箸だと一緒に流れてくるとは限りません。「箸」と明確に記述してあることから、下記のピンセットのような箸だったと考えられています。では食事に箸が使われるようになったのはいつでし



食べ物は人間にとって非常に重要なものである。したがって、上手に料理法を心得ている人は、大きな長所としなくてはならない。
『日本古代食事典』氷山 久夫 著 東洋書林

よう。一説によると、聖徳太子が隋の使節をもてなすときに、出したのが始まりだと言われています。当時の隋はすでに手食ではなく、箸やレンゲを使って食べていたので、日本に合わせて手食というわけにもいかなかったのでしょうか。

箸のマナー違反??
日本ではマナー違反とされている直箸（取り箸を使わずに大皿の食物を自分の箸で取り箸の習慣がなく、中国・朝鮮半島では直箸は友好の証です。）

形見のお弁当箱

『常山紀談』18巻（湯浅常山 著 有朋堂）には、豊臣秀吉の軍師であった黒田官兵衛が、息子長政に形見として面桶（めんづーお弁当箱）を残したというエピソードがあります。「さて面桶と云ふ物は飯を盛る物よ。上天子から下百姓に至るまで、一日として食物無くしては世に存命ふる者は無き事なり。国を富し士卒を強うするの根本一大事、此飯入に有り。必ず忘るべからず。斯る故に此面桶を形見に参らす」これが官兵衛の遺言です。



最近のお弁当

かわいく飾った **デコ弁**・**キャラ弁**。
塾に持っていく **塾弁**。
家族のために家に置いておく **置弁**。
そして自分でお弁当を作る **弁当男子**。
さまざまなお弁当の本があります。

『かわいい「デコ弁」レシピ』
まちやま ちほ 著 PHP 研究所



『つくってあげたい
シニアの「置き弁」』
館野 鏡子 著 NHK 出版



『決定版！塾弁レシピ』
井出 杏海 料理 世界文化社



『弁当男子』
きじまりゅうた 著 自由国民社

お・も・て・な・し

飲食店で出される割箸。それについている箸袋に注目していませんか？特別なお祝いのときに使う祝箸も「手作りの箸袋」で一味違うおもてなしをどうぞ。

『ぼち袋・のし袋・箸袋・箸置き』
プティック社



『箸袋で箸置き。』
山口 真 著 PHP 研究所

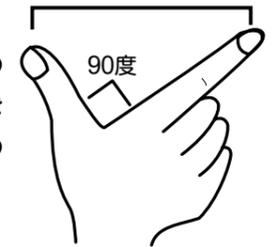


あなたのお箸は、手にあったものですか？

ちょうどよい箸の測り方いろいろ

① 一咫（ひとあた）×1.5倍

一咫とは、右手の親指と人差し指を直角に広げた時の直接距離です。



② 足のサイズ
③ 手のひらの長さプラス3センチ
一般的に男性用は24センチ、女性用は21センチということになるそうです。

インタビュー

第149回 (平成25年度)
芥川賞受賞作家

藤野可織 さん

去る9月半ば、台風過の京都長楽館にて、『爪と目』で芥川賞を受賞された藤野可織さんにインタビューをさせて頂いたことが出来ました。つたないインタビューの質問に気さくに答えてくださいました。



●芥川賞受賞おめでとうございます。本日は、貴重なお時間をさいてインタビューに応じてくださり、ありがとうございます。

子どもの頃の話し

●子どもの頃に「自分は何か、お話を作者だ」と思われていたそうですが、そのようなきっかけというのはあるのでしょうか。

よく聞いていたのですが、ハッキリとは覚えていなくて、絵本が好きだったの、そのせいじゃないかと推測しているのですが。

絵本は幼稚園にあったのと、母が本を読んだらなんでも買って来て、よく読んでくれたんです。だから幼稚園に行くか行かない頃か

●今までの小説とは違いますか。

普段は読者を意識することはないのですが、これは初めて読者を意識したというか、お子さんにお母さんが読み聞かせるということを念頭に置いたもので、いつものように書いてはお子さんが泣くのではないかと、お母さんも読み聞かせたいと思わないのではないかとという危惧がありました。対象年齢を考えて書きました。私、子どもはいないんですが、私なりに愛情を総動員して書きました。

京都の話

●京都で生まれ育ったそうですが、今後京都を舞台にした作品を書かれる予定はありますか。

実はひとつあります。今までは自分の書く小説が京都である必要はなく、どこ土地の話でもいいと思って書いていたのですが、今いただいている企画ものの短編のお話は、京都を舞台にした方がより面白いかもしれないので京ことも使おうと書こうと考えているところですよ。

ら字も読めました。絵本を読んでもらう時に、いろんなことが気になって、物語上のことであったり、絵のことであったり、揚げ足をとるみたいにいっぱい質問をして、一冊を読み終わるのに一時間はかかって、母親がぐったり疲れていきました。それでも母は、根気強く眠たくなり疲れはてながら答えてくれました。今でもたまにあれは大変だったと言っています。そういうことをしていたのでお話を作りたいと思うようになったのかもかもしれません。

●どんなお話を読んでもらったか、覚えていらっしゃいますか。

『眠り姫』とか童話とか、『どろんこハリー』も好きでした。

好きなものの話し

●何かマイブームはありますか。

マイブームは観葉植物です。引きこもりなので、非常に観葉植物を愛でております。私はもともとなんでもかんでも枯らす呪われた星のもとに生まれたのですが、引越してきて、植物にとって環境がよくならなかったらしく、前ほど百発百中で枯れることはなくなりました。ただこの一か月、二か月大変忙しかった間にいくつか枯らしてしまいました。

●怖いものがすごく好きということを伺ったのですが、おいくつ頃からですか。

かなり昔からホラー映画とか好きですね。小学生くらいの頃は、親が観せるジブリやディズニー映画しか観ていなかったんですね。中学生くらいから映画館に行くようになったら、気がついたらクラスの皆が観に行っているような、恋愛映画というの自分では選ばなくなっていました。アクション映画やホラー映画、スリラーを観に行っていました。一回だけ、皆の話についていけなくなると思ってたのですが、自分の好きなものとは、ちょっと違うなと思いました。

手放してしまっって手元がないのですが、『ジュゼットとニコラ』というシリーズがあつて、それを一冊だけ持っていました。とてもきれいな絵で大好きだったんです。ずっと今も好きで残しているのが、武田和子(わかこ)さんの『魔女と笛ふき』です。ダンボールに残していた絵本を、大学生の時『魔女と笛ふき』だけ残して、あとのものは手放してしまいました。今では手に入らないものも多いので、しまったな、と思いますね。

児童書を出版されて

●絵本『ぼくは』が今年の8月に出版されましたね。

2010年に、フレーベル館の子ども雑誌「キンダーおはなしえほんシリーズ」で書かせていただいたものです。今回の受賞をきっかけに、新たに製本し出版されました。

私の大好きな、あまりにも好きすぎて、友達になつてもらったくらい、イラストレーターかつ人形作家のイシイリョウコさんに先にお話があつて、その時にイシイさんが私と組みたいとおっしゃってくださったのですが、お忙しい方なので具体的なお話にはならなかったんです。でも、それがき

新刊について

●最後に受賞後初めての「おはなし」についてお子ちゃんについてお聞かせください。

十篇の短編が入っていて表題作は、標本のおさがり「おはなしして」という内容です。名久井直子さんに装丁していただくという長年の夢が叶いました。

イラストは、水沢そらさんというかわいい名前ですが、男性のイラストレーターさんに描いていただきました。すごくかわいいのでよかったです。ぜひ図書館に入れていただいて、図書館では千人以上の方が予約されている本もあるそうなので、めざせ予約千人超えですね。

●今日は、本当にありがとうございました。



『魔女と笛ふき』
武田和子 作・絵
岩崎書店



『どろんこハリー』
ジーン・ジオン 作
マーガレット・プロイ・グレーム 絵
わたなべしげお 訳
福音館書店



『ジュゼットとニコラ おにわで』
市川里美 作・絵
矢川澄子 文 富山房



『ぼくは』
藤野可織 作 高島純 絵
フレーベル館



『爪と目』
藤野可織 著
新潮社

※藤野さんより、京都市図書館にサイン色紙をいただきました。中央図書館にて展示していますので、皆様ぜひご覧ください。

※藤野さんからのおすすめの一冊
「こうしてお前は彼女にフラれる」
ジュノ・ティアス 著 新潮社

略歴
1980年京都市生まれ。同志社大学文学部卒業、同大学院文学研究科美学及び芸術学専攻修士課程修了。2006年「いやしい鳥」で第103回文学界新人賞受賞。2009年「いけにえ」で第141回芥川賞候補。2012年、「ハトコネ」で第34回野間文芸新人賞候補。



『おはなしして子ちゃん』
藤野可織 著 講談社



カメラのピントを合わせてくださいました。



インタビュー会場は、「京都 長楽館」さんに御提供いただきました。京都市東山区



おかげさまで15年

昭和61年から始まった桂川・新川環境整備事業。12年にわたった整備事業の最終段階として、平成10年に図書館やホール、福祉施設が入る久世ふれあいセンターがオープンしました。それから15年、地域に密着した身近な図書館として親しまれ、開館当初年間6万冊に届かなかった貸出冊数も現在では約18万冊に増えています。

蔵書冊数は約4万冊で、他の京都市図書館に比べると若干小さめです。しかしながら京都市図書館はオンラインで結ばれ、全館の蔵書180万冊を一体のものとしてご利用できます。また図書館のネットワークは京都市図書館にとどまりません。全国の図書館へつながっています。久世ふれあいセンター図書館を全国へひろがる図書館ネットワークの窓口としても是非ご利用ください。

さまざまな取組

● ちいさなおはなし会

毎週月曜日の朝は「ちいさなおはなし会」です。11時前になると、ベビーカーを押したママ（ときどきパパ）たちが次々とやってきます。絵本コーナーは元気な赤ちゃんや若いママたちで一気にはなやみます。

絵本の読み聞かせだけでなく、一緒にたのしみながら親子のきずなを深める手遊びなど、司書とともに経験豊富な保育士やボランティアが交代で担当しています。育児疲れ気味の新米ママさんも、息抜きをかねて気軽にご参加ください。



ちいさなおはなし会

● おたのしみ会

毎月第3土曜日は「おたのしみ会」です。夏には暗幕を張って暗くした中での「こわい話」や、夏休みの宿題にぴったり(?)の工作、ペープサートやパネルシアター、影絵、大型紙芝居と毎回工夫をこらしています。

● 夏休みおたのしみスタンプ

毎年たいへん好評をいただいている、夏休み恒例の取り組みです。期間中(7月~8月)来館ごとにもらえるスタンプを5個集めると、すてきなプレゼントがもらえます。プレゼントは10種類以上あり、全て職員の手作りです。



夏休みおたのしみスタンプ



おたのしみ会

● ウエルカム1年生

地域の小学校新入生に、図書館を知ってもらうプログラムです。司書が1年生のクラスを訪問し、図書館や本についてお話しします。後日、クラス毎に来館していただき、実際に本を借りる体験してもらいます。

● ブックトーク

低学年から高学年へと、子どもたちの本への興味をつなぐプログラムです。地域の小学校4年生を対象に、司書がブックトークをおこなっています。

● 子ども読書の日記念行事・読書週間記念行事

毎年センターホールを使用して、コンサートや講演会などを催しています。



講演会



コンサート

新着資料のお知らせメールを登録してみよう♪



新着資料のお知らせメールって？

「新着資料のお知らせメール」とは、あらかじめパソコンや WebOPAC(図書館内の資料検索機械)からお気に入りの著者や読みたいジャンルを登録しておく、条件にあった本が図書館に新しく入った時、週に一度、月曜日にメールでお知らせが届く便利なサービスです。メールアドレスをお持ちの方は、是非、利用してみてください！

登録してみよう！

まず、京都市図書館ホームページにアクセスし、「インターネットサービス」の中にある、一番下の項目、「新着資料のお知らせ」メールをクリックしてください。

認証画面で、図書館カードの番号とパスワードを入力してログインし、配信先を設定します。パソコンのアドレスか携帯電話のアドレス、もしくは両方を選択し、「配信状態変更」ボタンをクリックします（あらかじめ、パスワードとメールアドレスの登録が必要です）。

次に「新規登録」ボタンをクリックして、送信されるメールのタイトルを自由に設定します（例「料理の新着本」など）。著者名やジャンルなど、新着資料のお知らせメールで受け取りたい本の検索条件を設定し、登録完了ボタンをクリックすると、登録が完了します。

検索条件設定のコツ

検索条件の設定では、【タイトル】【著者】【出版社】【キーワード】【一般件名】【個人件名】【分類】【最大抽出件数】などを組み合わせて設定できます。

例1 【タイトル】で設定する。

【タイトル】の欄に、タイトルやシリーズ名に含まれる言葉を入力します。漢字、仮名のどちらでも登録できますが、漢字で登録すると、送り仮名が異なる場合や漢字・仮名を間違えると正しく設定できません。

「ちきゅうのあるきかた」「地球の歩き方」⇒○
「地球の歩くき方」「地球のあるきかた」⇒×



例2 【分類】と【タイトル】を組み合わせで設定する。

【分類】の欄には、日本十進分類の分類番号を入力します。参照表から選択することもできます。ただし、分類のみの登録はできません。例えば、【分類】の欄に食品、料理の分類番号「596」を入力し、【タイトル】の欄に「りょうり」を入力すると、タイトルに「りょうり」がつく小説などは、省くことができます。

例3 【個人件名】で設定する

誰について書かれた本なのかを表したものが「個人件名」です。「親鸞」について書かれた本を探す場合、【著者】ではなく、【個人件名】の欄に「親鸞」と入力します。

それぞれの検索条件の詳しい説明は、HP上にある「新着資料のお知らせメール」利用ガイド（PDFファイル）を御覧ください。



※新着お知らせメールの対象になるのは、1週間以内に図書館で受け入れをした本です。雑誌・視聴覚資料（CD・DVD）のお知らせはありません。
※ご寄贈いただいた場合や、買い替え等で古い資料を受け入れることもありますので、新刊本以外の情報も含まれます。また持ち出し禁止の本（貸出・予約ができない本）も含まれます。

◆ 北区 矢ヶ村 知加さん (主婦)



子供の頃、母にすすめられて読んだイギリスの児童小説家ブライトンの『おちゃめなふたご』シリーズ。寄宿学校で過ごす少女達の素敵な学園生活にあこがれて夢中で読んだのを覚えています。

昔少女だった大人の方も、これから学生生活を送る女の子にもぜひ読んでもらいたい一冊です。

かけがえのない友達を作り、楽しい青春時代を過ごして欲しいなあという願いを込めて。

私のおすすめの本

テーマ

「すすめられて読んだ
思い出の一冊」



◆ 東山区 小澤 優里子さん (学生)



小学校の図書館に入り浸っていた頃、司書の先生に「お姉ちゃんが好きだった本だよ」と勧められた本がありました。本をあまり読まない6つ上の姉が好きな本は、ルーマー・ゴッデン作『クリスマスのようせい』。

何をやっても冴えないエリザベスが、ツリーへ飾る妖精の人形と出会うお話です。エリザベスが作る妖精の世界に憧れていました。

姉は、当時も今もとぼけた様に「何で私の好きな本を知っているの?」と笑っています。

◆ 山科区 梅津 純子さん (無職)



縦割り社会の中で、エリート外科医の道を歩いていた渡辺淳一さんが、大先輩の医療行為に疑問を投げかけたという剛勇を知り、日本にもこのような方がおられたのかと尊崇の念に燃えて読み始めました。

徹夜で読み上げたのが、知人からすすめられた『あじさい日記』です。

医師である夫の浮気を、妻が手の中で転がしながら進めていく面白さ。この一冊との出会いが縁で、著者のエッセイ全てに、虜になってしまった私です。

◆ 伏見区 桐山 千秋さん (会社員)



「学問のための学問でない歴史を。」受験勉強の最中、ユニークな世界史の先生に紹介されたのが阿部謹也氏の著書数冊。現存する慣習や昔話から浮かび上がる中世世界は、生き生きとして非常に鮮やかで魅力的。と同時に、将来を考える機会を与えられた。

「何をやるにしろ、それをやらなければ生きていけないというテーマを探すことですね。」阿部氏の恩師の言葉だ(『自分のなかに歴史をよむ』)。今後岐路を迎える学生さんに読んでほしい。

左京区 M・Oさん (主婦)



15歳の誕生日に自爆テロの犠牲になったイスラエルの少女が残した詩と、遺族の憎しみを超えた共存の思いを紹介する『平和への夢』(バッド・ヘン シャハク原詩 / 「平和への夢」出版委員会著)

この本をきっかけに、図書館の棚で国際情勢や歴史のノンフィクションを手にとることが増えました。読むだけで何もできない自分が情けないのですが、まずは関心をもつこと、知りたいと思うことが第一歩ではないか、と教えていただいた方に感謝しています。

京図ものがたり vol.33

発行
平成25年11月

編集・発行

(公財)京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2

TEL 075-802-3133

<http://www2.kyotocitylib.jp/>

<http://www.kyotocitylib.jp/i/>



古典に抱かれて



11月1日 古典の日

子どもを共に育む
京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう!

編集◆後◆記

インタビュ―当日、赤い爪と大きな目が印象的だった藤野さん。快く応じてくださり本当にありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

雑談の折、「なまはげになってみたい」とおっしゃるなど、とてもキョートな方でした。(一)

今号では、新着資料のお知らせメールを紹介しました。好きな著者や趣味のキーワードなどを登録しておけば、本との出会いのチャンスが、ますます増えるかもしれません。是非、一度利用してみてください。(S)

お弁当箱とお箸について様々な本を紐解きました。一日三度の食事を当たり前だけでなく、とても大切なものとして、次の世代に伝えていくことの大切さを学びました。(T)